

平成28年  
10月21日発行  
No.90

# ろくのへ 議会だより

■編集／六戸町議会広報委員会

〒039-2392 青森県上北郡六戸町大字犬落瀬字前谷地60

TEL:0176-55-3111(代表) FAX:0176-55-3112

ホームページ <http://www.town.rokunohe.aomori.jp>

Eメール [gikai@town.rokunohe.aomori.jp](mailto:gikai@town.rokunohe.aomori.jp)



## 豊作に感謝 ～上吉田大黒舞～

六戸秋まつりで上吉田地区の皆さんによる上吉田大黒舞が披露されました。

大黒舞は豊作を祈願し、豊年に感謝する芸能で、農家の最大の祈りと感謝の意を表しています。手に小槌と日の丸の扇子を持った小さな大黒天は、お祝いの歌に合わせて元気に踊っていました。(撮影日：9月4日)

## 【27年度決算】

**教育関連事業を重視!** ..... 2

## 【決算特別委員会】

**みんなの税金をチェック!** ..... 4

## 【第3回定例会】

**病院から診療所へ** ..... 6

## 【一般質問】

**3人の議員が質問** ..... 8

## 【委員会レポート】

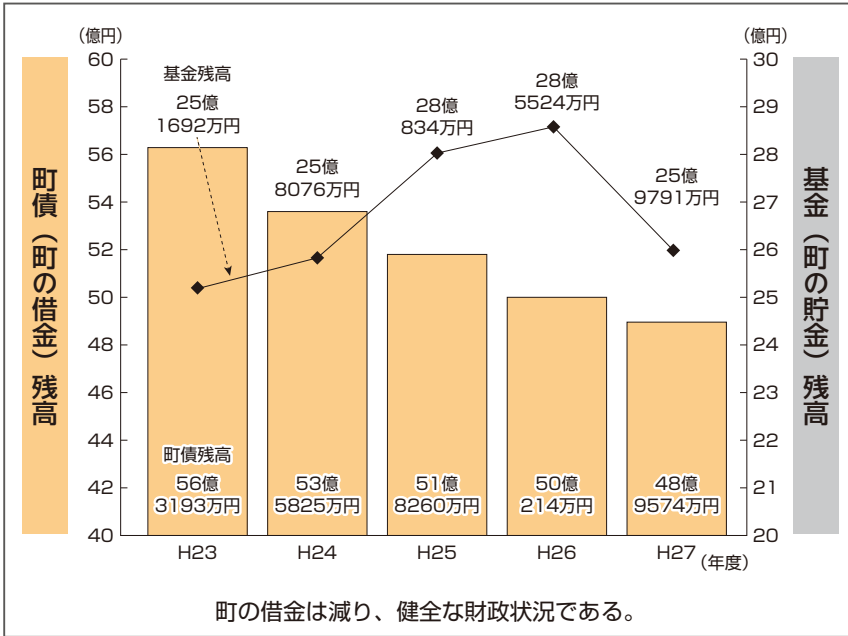
**台風の被害状況を調査** ..... 11



新しく生まれ変わった七百中学校の講堂

# 重視!

アップ  
前年度より**4億円**  
一般会計の歳出決算は  
**55億4474万円**



9月定例会が、9月1日から7日までの日程で開催されました。

平成27年度の一般会計および各特別会計の決算では、決算特別委員会を設置し、5日は一般会計、6日は特別会計を審議し、原案のとおり認定しました。

このほか、平成27年度健全化判断比率の報告をはじめ補正予算6件や六戸町国民健康保険病院から診療所へ移行することに伴う条例案件、人事案件など6件を原案のとおり可決、同意しました。(9月定例会で決めたことの詳細は6・7ページをご覧ください)

一般質問は、9月2日に行われ、3人の議員が質問しました。

## 町長から報告された財政健全化比率を紹介します

### ○ 実質公債費比率

26年度 12.4%

27年度 11.5%

早期健全化基準 25.0%

※ 数値が大きいくほど経費や借金の支払いが大きく、財政運営が大変な状況を示します。

### ○ 将来負担比率

26年度 12.0%

27年度 19.3%

早期健全化基準 350.0%

※ 数値が少ないほど将来の負担が少なくなります。(借金の支払いなどが減っていく)

## ● 主な実施事業

町プレミアム商品券発行支援事業補助金 プレミアム率20%商品券9600万円分発行	1315万円
学校建設関連事業 七百中学校(講堂)防音事業改築工事ほか	1億854万円
六戸町国民健康保険病院事業 特別会計補助金	1億5626万円
児童福祉関連事業 六戸児童館大規模改修工事ほか	3470万円

## 監査意見

## 財政運営や財産管理ともに適正

平成27年度一般会計歳入歳出決算及び各特別会計は、適正水準にあり、健全な財政運営だったことが見受けられる。

厳しい行財政運営の中で、保健、医療、福祉、子育て支援の体制を重点方針としてきたことが、急速に進む少子高齢化に対応したものと言える。ただし、次の点について注意したい。

前年度より入院・外来患者の減少に伴い、収益が大きく減少となった。今後、当病院が地域住民のための医療機関として役割を継続していくためには、更なる経営の健全化が必須である。よって、経営状況を精細に分析し、着実な経営改善努力を望む。

### ● 更なる経営の健全化を 町国民健康保険病院事業特別会計

● 適切な徴収を  
収入未済額については、財源確保や利用者負担の公平・公正から、より一層債権管理の強化を望む。



決算審査の様子。資料と担当課の聞き取りを入念に行う吉田透代表監査委員(左)と母良田昭監査委員(右)

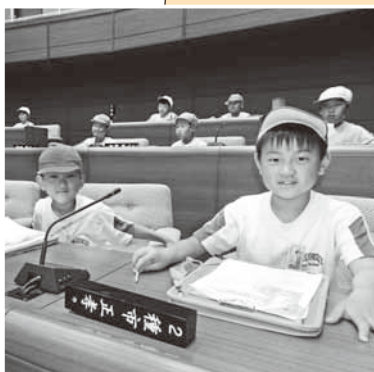
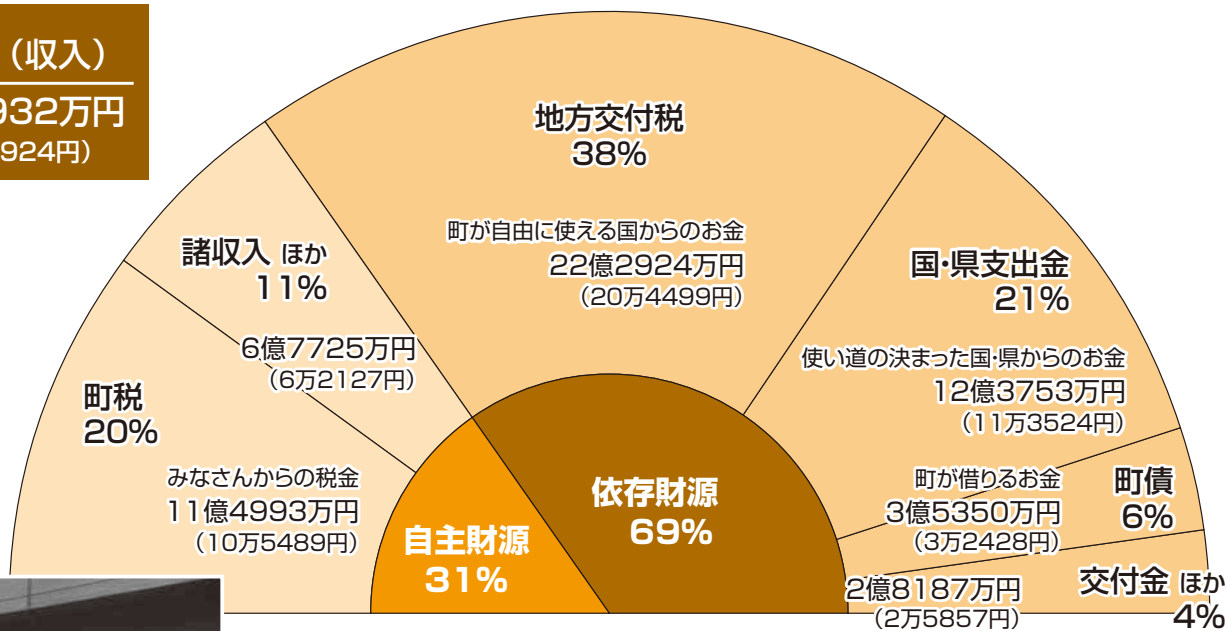
# 平成27年度 決算

# 教育関連事業を

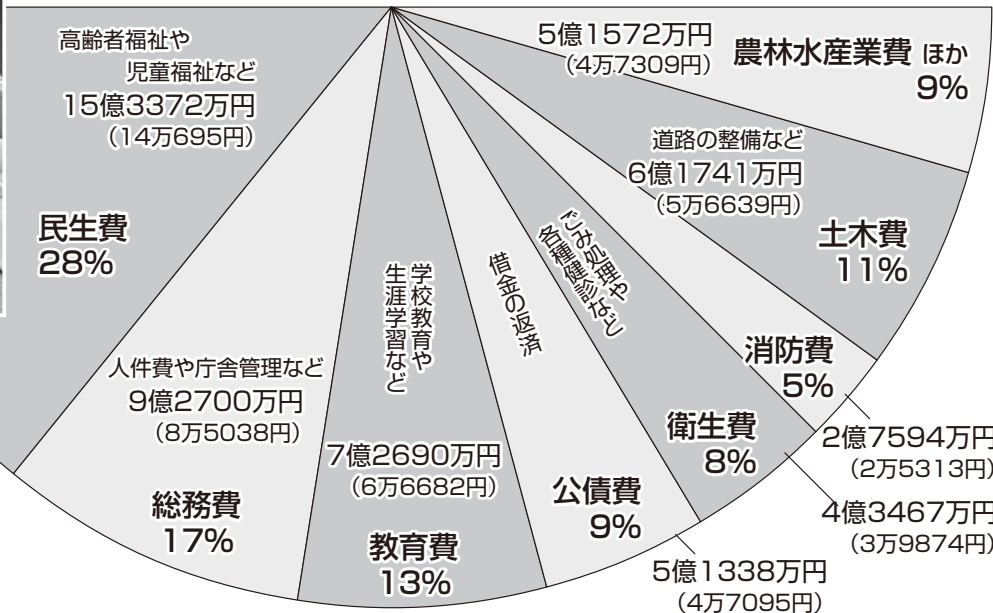
金額は千の位で四捨五入してあり、合計にあわせて一部端数調整しています。  
 ( )内の数字は、人口1万901人(平成28年3月末日現在)で割った町民一人あたりのお金です。

## 歳入(収入)

59億2932万円  
 (54万3924円)



子どもの笑顔を大切に  
 (議場見学に来た開知小  
 の子どもたち)



## 歳出(支出)

55億4474万円  
 (50万8645円)

貯金は25億円

22万

町民一人  
あたり

借金は48億円

44万

決算収支は  
黒字になりました

残ったお金 3億8458万円

会計名	貯金(基金)	借金(借入金)
一般会計	23億5225万円	48億9574万円
特別会計・その他	2億4566万円	33億8909万円

28年度の特定の事業へ	5652万円
基金に積み立て	2億9625万円
28年度に繰り越し	3181万円

# みんなの税金 使い道をチェック!!

認定



決算特別  
委員会

## ～一般会計・特別会計～



河野 豊 決算特別委員長

平成27年度一般会計、各特別会計の決算認定に伴う決算特別委員会（河野豊委員長）は、9月5日・6日で税金が正当に使われたのか慎重に審査を行いました。

質疑では、委員から新規事業についての説明要求や要望が出されていました。審査の結果、すべての会計を認定と決定しました。主な内容を要約して掲載します。

**問** 円子企画財政課長  
地方交付税が増えた要因ですが、他の市町村が人口が減っていく中で、六戸町は増えているというのが一番大きな要因だと考えます。

**答** 館税務課長  
当初予算を算定する際の見込みを若干少なく見込んでいた部分が、予定より多く入ったので増となりました。

**問** 下田敏美委員  
町民税、固定資産税が当初予算と比べ、大幅に増えた要因は  
地方交付税が今まで連続減少していたが、27年度は増えている。理由は

町税と地方交付税

歳入

一般会計

**問** 高坂茂委員  
多面的機能支払交付金で、27年度に2組織が増え、9組織とあるが、今後もっと増える可能性はあるか

農林水産業費

**答** 高坂茂委員  
汚水と雨水の台帳を整備し、調査も行っています。27、28年度の2年を予定しています。

**問** 小林建設下水道課長  
雨水が汚水に流入している可能性もあるので、  
小松ケ丘汚水処理検討業務だが、4千500万円超という非常に大きい金額である。調査期間はいつまでか

小松ケ丘汚水処理施設

歳出



**問** 櫻田教育長  
教育委員会においては、定例の校長会が月1回あり、学校の内情についてすべて校長会で共有しています。

**答** 櫻田教育長  
また、定期的にアンケートを行っており、悪ふざけのような小さいもの

教育委員会費

**問** 川村重光委員  
教育行政に携わる教育委員会では、いじめに対し、どういう形で議論されているか。また、いじめはあるか

**答** 高橋産業課長  
今年度は2組織が新たに加入する計画で進んでいます。

**問** 山本実委員  
大曲小学校の増改築だが、完成年度はいつか。また、負担割合はどのくらいか

学校建設費

**答** 吉田教育課長  
29年度に実施設計に入り、30年度で着工、31年度に供用開始を目指して準備を進めています。負担割合ですが、これから関係機関と協議して進めるので、現在はお答えできません。



きちんと税金が使われたのか、委員全員で審査

## 特別会計

### 国民健康保険事業

問 高坂茂委員

病気の早期発見や早期治療を促す特定健診だが、受診率はほぼ横ばいで変わらない。健診を受けない方が来るような対策はどうしているのか

答 外山福祉課長

65歳未満の方のがん検査精密検査の助成事業を27年度から行っています。28年度からは健康ポイント事業を実施し、健診の受診率の向上を図ります。

### 国民健康保険病院事業

問 高坂茂委員

医師2名で医業を行い、今は入院患者を受け入れていないとのことだが、検査入院などの場合の食事の提供はあるのか

答 吉田病院事務長

食事に関して、給食は継続しており、検査入院等があった場合は即時に提供できる体制にあります。

問 山本実委員

医師2名体制で今年の10月1日から診療所という流れで進んでいるが、これは入院患者を置くのか

答 保土澤副町長

基本的に2人の医師では入院患者を置かないという考え方をしていますが、今後、入院患者を置く、置かないは医師の判断に委ねています。

### 介護保険事業

問 下田敏委員

一次予防事業で湯遊クラブがあるが、モリランド、六戸ヘルスセンター、青森屋で行っていたものが、今年度から青森屋がなくなった。一番利用度が高かった施設がなくなったことにより、参加者の減少はあるか

答 辻浦福祉課次長

参加者の人数は1回45人から50人程度で推移しており、大きな減少はありません。

## 平成27年度各会計決算額

会計の種類	歳入	歳出	差引額	
一般会計	59億2932万円	55億4474万円	3億8458万円	
特別会計	国民健康保険事業	15億2984万円	15億2389万円	595万円
	国民健康保険病院事業	4億9355万円	5億8267万円	▲8912万円
	下水道事業	3億435万円	3億435万円	0
	農業集落排水事業	1億3237万円	1億3237万円	0
	介護保険事業	14億543万円	14億444万円	99万円
	後期高齢者医療	1億351万円	1億255万円	96万円
霊園事業	907万円	907万円	0	
合計	99億744万円	96億408万円	3億336万円	



大曲小学校の多目的室。既存の教室を正夫して運営している。(平成28年2月撮影)



まちの将来がわかる

## 議会傍聴どうですか？

今回は12月に定例会があります。詳しくはこちらまで

☞ 議会事務局 ☎ 55-4547 (直通)



現在の診療所

# 病院から診療所へ

## 六戸町国民健康保険診療所

### 条例

◆ 六戸町国民健康保険診療所設置条例案

今までの六戸町国民健康保険病院を廃止し、診療所として設置するために制定します。  
入院患者の定数は30人から19人になります。

### 補正予算

○ 平成28年度一般会計補正予算

既存の歳出に、主なものとして次のものを計上しました。

- ・ 町長が公務のために使用する公用車を更新 792万円
- ・ 議会議員の委員会研修や県外研修の費用 396万円
- ・ 除雪用重機（複数台）の当面1か月分のリース料 239万円
- ・ 7月30日の落雷によって損害を受けたメイプルスタジアムの電光掲示板等の復旧工事費 469万円

### 審議内容

▽ 国民健康保険診療所について

○ 診療所の入院体制

問 山本実議員  
病院から診療所が変わっても入院ができる診療所であってほしいと多くの町民から聞かれています。その声に応えていく考えはあるか

答 保土澤副町長  
病院の場合は入院患者を受けなければいけません。医師の判断によります。従って一般の個人医院やクリニックなどの1人の医師でも入院患者を扱っている事例はあります。それと同じ診療所の体制になると考えています。

○ 医師の確保

問 山本実議員

医師確保のために、どのようなことをしてきたか、具体的な答弁を求む

答 保土澤副町長

町のホームページやインターネット上の医師募

集広告に依頼し、機会のあるたびに県に町長や私からも継続的にお願いしています。

○ 入院部屋の利活用

問 苫米地繁雄議員  
入院のベッド数が30床から19床に減った場合、残り11床はどうなるのか

答 吉田病院事務長

空いた部屋は、打ち合わせをするスペースとして多目的室や相談室、職員更衣室等に利用する予定です。

### 補正予算

○ 町長車の更新

問 種市正孝議員

公用車の更新だが、車だけでこんなにするのに何か付属するものなどもあるのか

答 川村（星）総務課長

現在の町長車は平成18年度に購入し、走行距離も10万キロを超えています。後部のスライドドアが開かないトラブルやバッテリーの故障も出てき

ているため、更にグレードアップした車種の更新を考えています。

問 山本実議員

なぜ町長車を買替える必要があるのか。修理をすればまだ利用できると思うがどうか

答 保土澤副町長

修理をすれば当然乗れる状態にはなると思いますが、ハイブリッド車なのでバッテリー交換も普通のバッテリーとは違います。また、現在町長は県の町村会会長という要職にあり、迅速な対応、働きをお願いするためにも公用車を更新したいと考えています。

○ B&G海洋センター

問 種市正孝議員

プールのシャワーだが、今シーズンずっと温水が出なかったと聞いている。その理由は

答 吉田教育課長

プールの開館前の6月に準備作業を始めますが、その段階で不具合が分か

りました。至急対応しようと思いましたが、工事に2、3か月かかることで、今年度は温水が出ない状況で運用しました。

### 平成28年度各会計補正額（いずれも全会一致で可決しました）

会計名	補正前	補正額	補正後
一般会計	54億5775万円	1億4894万円	56億670万円
国民健康保険病院事業特別会計※	5億9962万円	△3億1901万円	2億8061万円
下水道事業特別会計	2億8173万円	150万円	2億8323万円
農業集落排水事業特別会計	1億3548万円	150万円	1億3698万円
介護保険事業特別会計	14億2123万円	2148万円	14億4271万円

※病院事業会計は9月末で会計を締め、10月1日から新たに診療所特別会計として補正計上されます。

# 審議した議案と各議員の



・賛成が○、反対は×と表示しています。  
 ・退は退席、欠は欠席を表示しています。  
 ・円子徳通議長は採決には加わりません。

議案番号	議案名	長根一男	種市正孝	杉山茂夫	久田伸一	高坂茂	下田敏美	川村重光	河野豊	母良田昭	山本実	苫米地繁雄	審査結果	議決日
報告4号	平成27年度青森県新産業都市建設事業団特定事業及び特定事業以外の事業の決算報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	報告	9月7日
報告5号	平成27年度六戸町健全化判断比率の報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	報告	
報告6号	平成27年度六戸町資金不足比率の報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	報告	
認定1号	平成27年度六戸町一般会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案認定	
認定2号	平成27年度六戸町国民健康保険事業特別会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案認定	
認定3号	平成27年度六戸町国民健康保険病院事業特別会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案認定	
認定4号	平成27年度六戸町下水道事業特別会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案認定	
認定5号	平成27年度六戸町農業集落排水事業特別会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案認定	
認定6号	平成27年度六戸町介護保険事業特別会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案認定	
認定7号	平成27年度六戸町後期高齢者医療特別会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案認定	
認定8号	平成27年度六戸町霊園事業特別会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案認定	
議案40号	六戸町国民健康保険診療所設置条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案41号	六戸町国民健康保険診療所職員の特殊勤務手当に関する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案42号	六戸町国民健康保険診療所使用料及び手数料条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案43号	六戸町特別会計設置条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案44号	六戸町国民健康保険病院の診療所移行に伴う関係条例の整備に関する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案45号	平成28年度六戸町国民健康保険診療所事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案46号	平成28年度六戸町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案47号	平成28年度六戸町国民健康保険病院事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案48号	平成28年度六戸町下水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案49号	平成28年度六戸町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案50号	平成28年度六戸町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案51号	平成28年度六戸町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
同意3号	六戸町固定資産評価審査委員の選任につき同意を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案同意	

## 議会のひまわり (28年6月～8月)

### 6月

- 6日 議会運営委員会
- 9日 \* 第7回六戸町長杯グラウンド・ゴルフ交歓大会
- 10日 第2回六戸町議会定例会(14日)
- 14日 議会広報委員会
- 17日 \* 県町村議会議長会臨時総会
- 22日 産業民生常任委員会現地調査
- 23日 研修検討委員会
- 24日 全員協議会
- 26日 \* JAおいらせ通常総代会
- 27日 \* 三沢地区消防団連合観閲式

### 7月

- 7日 \* 八戸・十和田・小坂間・地域高規格道路整備促進期成会総会
- 8日 研修検討委員会
- 8日 議会広報委員会
- 8日 総務常任委員会
- 14日 \* 町中・高校生進路講演会
- 14日 県下町村議員研修会

### 8月

- 19日 議会広報委員会
- 21日 岐阜県揖斐川町議会視察のため来町
- 22日 研修検討委員会
- 22日 議会広報委員会
- \* サマーフェスティバル(23日)
- 26日 青森シャモロックザ・プレミアム#6お披露目会
- 27日 \* 青森県民体育大会結団式
- 29日 \* 上北郡町村議会議長会定例会
- 31日 宮城県山元町・亘理町議会視察のため来町
- 31日 六戸町民運動会
- 4日 総務常任委員会久慈市議会視察
- 8日 \* 海外交流団歓迎会
- 8日 \* 海外交流団送別会
- 15日 六戸町成人式
- 19日 全員協議会
- 23日 県下町村議員新人議員研修会
- 25日 総務常任委員会
- 29日 議会運営委員会
- 29日 全員協議会
- \* 青森県民駅伝選手・役員結団式
- \* 印は議長のみ出席



しもだ としみ  
下田 敏美 議員

一般質問は、3月・6月・9月・12月に行われる定例会において、議員が町の施策の状況や方針などについて、報告・説明を求めたり質問することをいいます。その内容を要約してお知らせします。

# 太陽光パネルの設置増加による 宅地開発に影響がないか

平坦な土地がたくさんあるので  
宅地開発の影響はない — 町長

**問** 近年、太陽光発電パネル設置が多くなり、今後の宅地開発に影響がないか

**町長** 宅地への太陽光発電施設の設置には特別な制限はなく、宅地に太陽光発電施設を設置しようとしている者に対し、指導や規制を行うことができないのが現状である。

なお、六戸町は比較的起伏のない農村地帯であり、広々とした平坦な土地がたくさんあるので宅地不足の心配はないと考える。

**問** 小松ヶ丘地区はここ5年間で235棟建っていて、現在、840戸、2千125人



宅地の区画にメガソーラーが建ち並び

が住んでいて、ほとんど他町村から移り住んでいる。太陽光パネルがあれば、県内でも人口が増えている唯一の町にブレーキがかかると思うが

**町長** 私は、個人的なエネルギーを考えたが、現在工事を行っている方はいくつかあるが、現在工事を行っているような大規模なものは収束の時期ではないかと考えている。

**問** 施設管理のために大量の除草剤等の使用が考えられるが、使用された場合、住民や環境へ影響がないか

**町長** 現在、町内の除草剤散布による直接的影響、被害状況について把握はしていないが、土地管理者等においては十分配慮の上、散布されていると思うが、さらなる指導、お願いに努めていく。

**問** もう既に除草剤を使っている業者がいる。除草剤をまくと、風で飛び、近隣住民に健康被害が出ないか心配だ

**町長** いろんな集まりで、小松ヶ丘地区の方々から、除草剤のこ

とを心配していると話を伺っている。町では事業者の方々に来年度から管理において除草剤散布など周辺のことを考えながら対応するように伝える。

**問** 太陽光発電設備から発する電磁波により、住民に健康被害が出ないか。

**町長** 太陽光発電施設や高圧線の近くでの体調不良の訴えなどもあると聞いているもの、施設との因果関係は分か

つておらず、医学的裏づけもないのが現状のため、住民への健康被害はないものと判断している。

**問** 台風等によりパネルが飛ばされた

場合、感電することが予想されるが災害が発生した場合を想定し、対処の仕方について消防署、消防団で訓練されているか

**町長** 消防署に確認したところ、現在はマニュアルが定めておらず、訓練は実施していないが、国や関係協会が発表している情報を収集しながら有事の際は対処するとしている。

**問** 太陽光パネル設置に対処するため、条例を作っておくべきでは

**町長** 町単独で条例化は難しい。倒産などした場合に撤去するかどうかは国が明文化すべきだ。





ながね かずお  
長根 一男 議員

# ニンニク・ウィルスフリー種子の 助成を再び検討しては

来年度の実施に向けて前向きに検討 — 町長

**問** ベジタランド六戸のPR看板設置工事の進捗よく状況は

**町長** 現在、施工業者が決定し、まもなく着工する段階で、工期は10月末を予定している。

**問** キャッチフレーズ・ベジタランド六戸の今後のPR活動は

**町長** 六戸ブランド研究会と協力しながら、町特産の野菜を

県外の首都圏へのPRはもとより、県内、町内における消費拡大に積極的に取り組みたい。

**問** 農家の要望である、ニンニク・ウィルスフリー種子の助成事業は

**町長** ニンニクは六戸町の基幹作物であり、大玉日本一を標榜している。来年度の実施に向けて検討してまいりたい。



ニンニク・ウィルスフリー種子の助成事業は農家も切望している

# 消防団員の出勤手当を 引き上げては

処遇改善策の一つとして検討 — 町長

**問** 消防団の加入促進運動の取り組みは

**町長** 町の広報やホームページの掲載に加え、チラシの配布や消防団員の直接的勧誘により、促進してまいりたい。

**問** 今後、消防団員の減少対策として、定年の延長はどうか

**町長** 団員の確保や組織強化のため、周辺市町村の状況を確認しながら今後、検討してまいりたい。

**問** 消防団員の出勤手当の引き上げは

**町長** 平成3年に1千円から1千500円に引き上げになって以来、約25年間据え置きされている状況であり、隣接の町でも引き上げ等を予定しているところもあり、消防団員の支援施策、処遇改善策の一つとして検討してまいりたい。



町の安全、安心を担う消防団員の確保が必要である  
(写真は第1分団の消防ポンプ車引渡しの様子)



かわの 河野 ゆたか 豊 議員

# 誘致企業の条例改正も含め 条件緩和する考えは

今後の検討課題、改善に向けて努力したい — 町長

**問** 町内企業が新規事業に取り組んだとき、投下資本及び雇用人数が条例を満たした場合、誘致企業とみなす考えは

**町長** この交付要綱が制定されたのは昭和60年と非常に古く、また、周辺市町村と比較しても現状と乖離しているので今後検討課題とさせていただきます。

**問** 六戸町の立地企業雇用奨励事業補助金交付要綱によると六戸町の誘致企業の条件として青森県の認定を受けた者となっているが、条例改正も含め条件緩和する考えは

**町長** 六戸町企業立地促進条例においては、立地企業の対象に町内、町外の区別はない。企業雇用奨励事業補助金交付要綱では、県知事の認定及び県外のある企業と、条例・要綱に相違がある状況にある。

他市町村においては、当該市町村内に既設の工場等を有する企業が、生産拡大のため工場の新設・増設を行う場合も立地企業の対象となる旨が明文化されている。今後の検討課題、改善に向けて努力させていただきます。

**問** 六戸町企業立地促進条例では、工業専用地域及び準工業地域と定めている。金矢工業団地が主で後は町総合体育館東側のわずかな場所しかない。町遊休地も含め新たに指定する考えは

**町長** 六戸町は、全域が都市計画区域に指定されている。この計画は町の土地利用のあり方に一定の規則や制限により秩序あるものに誘導していくもので、六戸町の各種計画との整合性を図りながら検討する。



## 台風10号における被害状況を視察して —産業民生常任委員会報告—



損壊したパイプハウスを調査

8月30日の台風10号が気象観測史上例を見ないルートで東北地方に上陸、各地に多大な被害をもたらしました。

私たち当委員会は早速町内の被害状況を現地調査に出向きました。

**主な被害状況 (8/31時点)** ▶倒木の状況：町道24件、県道3件  
▶土砂流失：5件 ▶パイプハウス損壊：3件

委員会としてはこのような被災状況を真摯に受け止め、町行政と連携しながら、災害復旧に努めてまいり所存です。

日時：平成28年9月1日 13時30分～

参加者：高坂 茂、川村 重光、母良田 昭、下田 敏美、  
円子 徳通、長根 一男、川村 政則（事務局長）、  
松橋（事務局次長）

文責：産業民生常任委員会委員長 高坂 茂

## 久慈市議会「高校生×ギカイかだって会議」 —総務常任委員会視察報告—

8月4日に標記の意見交換会の視察をしてまいりました。

本視察は、10月12日に行われます六戸高校生との意見交換会を見据えた事前研修であります。

かだって会議には、市内4高校から16人が参加され市議会議員を含め約40名の参加者でした。中盤では「20年後になりたい大人になっているためには」の意見交換があり、最後に高校生一人ひとりが20年後の自分の未来を発表してもらい、その高いところごしに大きなエールの拍手をもらっていました。

この経験を六戸高校生との意見交換会に活かしていきます。

文責：総務常任委員長 河野 豊



高校生の活発な意見がたくさん見られた「かだって会議」

## 県下町村議員新人議員研修に2名の議員が出席



8月23日新人議員を対象とした研修会が青森市で行われ長根一男・種市正孝の2名の議員が出席しました。講師に新潟県立大学国際地域学部国際地域学科准教授の田口一博氏を迎え「議会の使命に応えるために～発言の仕方、効果的な一般質問」と題しての講演を受講して来ました。

多方面とのネットワークの重要性、間接話法を用いた発言の仕方、一般質問の準備など、今後の議員としての活動に多いに参考となる研修会でした。（種市正孝）

## いびかわ 岐阜県揖斐川町議会、宮城県山元町・亶理町議会 当町議会を視察!!

7月21日に岐阜県揖斐川町議会、29日に宮城県山元町・亶理町議会が視察に当町を訪れました。

当町議会が制定した議会基本条例や議会改革について多くの質問が出され、活発な情報交換がなされました。



揖斐川町議会



山元町・亶理町議会

さまざまな分野で  
がんばっている人

町民の皆さんが、さまざまな分野でがんばっています。  
今回は、四木誉将さん  
にお話を伺いました。

# 収穫の達成感が 一番の魅力

## 四木 誉将さん

プロフィール(しき のりゆき)  
岡沼地区在住。30歳。高校を卒業後、大学に進学し、農業資材の会社に就職。その後、地元六戸に戻り、父母ら家族と共に農業に従事。今年で7年目を迎える。父、母、祖母、妻と2人の子どもの7人家族。



農業は人とのふれあひから

「何の作物を作っているんですか」

四木「家では、ごぼうと長芋、にんじん、大根を作っています。去年から青年給付金をもらって今年はにんにくの栽培を始めようと思っています。」

去年は種を作って、今年から植え付けをします。

「小さいときから農作業を手伝いながら仕事を覚えていったんですか」

四木「実際、ちゃんと覚えたのは自分でやり始めてからです。自分でいろんなものを、親から言われて覚えしました。子どもの頃からお手伝い程度で農作業はやっていました。多分、農作業が好きだったと思います。」

「農業以外に、プライベートでは何か趣味とかあるんですか」

四木「趣味とかはあまり。ほかの農家の所に行

って小屋を見るのが好きです。小屋っていうか、そこに置いてある農機具を見て、話を聞いて。結構おもしろいんですね。勝手に見に行ったらだめですけどね。」

「四六時中、常に農業のことを考えているんですね」

四木「農協の青年部と一緒にになった人とか、後継者の会とか。地域は違うけど、仲良くなってそっちに行ってみたり。そういう点は利点があるなっと思っています。」

「農業は決まった休みもないし、大変な仕事だと思えます。それでも農業を続ける魅力は何ですか」

四木「農業は楽しいです。はつきり言えば。きついけれども、種をまいて収穫までの作業がたたくさんあるし、「大変だし、やりたくないな」って思いますが、収穫して終わったときの達成感を実感できたときが一番幸せだと思います。」

それに、横のつながりというか、仲間と集まって飲み会や焼き肉やったり交流するのも楽しいし、やっぱり一年通して、きついんですけど楽しいですね！

「いまもこの先も農業をずっと続けたい、ということですね」

四木「そうですね。自分でやる分には。親から言われると、嫌なんですよ(笑)。そこは誰もみんな思ってると思います。」

「最後に、町や議会に要望は」

四木「近所に公園がないので、公園が欲しいですね。遊具とかなくても芝生や土だけでもいいので。子どもが自由に遊べるような広場があればいいなあって思います。ふれあい昭陽館(旧昭陽小学校)を開放してほしいですね。グラウンドも広いので、活用できると思います。」

聞き手 杉山委員長  
種市副委員長

### 編集後記

収穫の秋、雨により遅れていた稲刈作業も終わり、台風・豪雨による長芋、ゴボウなどの根菜類への被害の状況が心配されます。  
先日、議会と六戸高校3年生との意見交換会がありました。

今時の高校生は、どんな考えを持っているのか、興味をもって参加しました。

進学が6割、就職が4割と次の進路がある程度決まっているせいか、自分の将来を見据えた生徒さんが多かった感じがしました。

また、最後の全体セッションでは、自分から手を挙げて考えをまとめて発表する生徒が多く、大変好感を持ちました。詳細は次の議会日よりご報告します。

町民の皆さんも、議会に対してどしどしご意見を出していただきたいと思います。

広報委員 母良田 昭

### 議会広報委員会

委員長 杉山 茂夫  
副委員長 種市 正孝  
委員 母良田 昭  
河野 豊  
川村 重光  
高坂 茂

発行責任者 長 円子 徳通